蛍光灯交換器･取扱説明書

TKU-105

（Hf105 w蛍光灯専用）

HOKUYO MUSEN CO

このたびは、蛍光灯交換器「TKU-105」をお買上げいただきましてまことにありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ
正しくお使いください。

本取扱説明書は内容をご確認後、大切に保管し
ご活用ください。

‥‥‥ 目　　次 ‥‥‥‥

1. 安全上の注意 ---------- 1

2. 使用上の注意 ---------- 1

3. 交換器 TKU-105 の構造
3-1.構造説明 ---------- 2
3-2 全体図 ---------- 3
3-3 本体図 ---------- 4

4. 蛍光灯器具の説明 ---------- 5

5. TKU-105 の操作方法
5-1．取り外し ---------- 6 〜 7
5-2．取り付け ---------- 8 〜 9

1．安全上の注意

⚠ 警　告

- 蛍光灯の交換作業は必ず電源を切り、蛍光灯が冷えてから行ってください。蛍光灯の熱でヘッド樹脂やゴムを損傷させたり、感電や漏電事故の原因となります。
- 器具構造によっては蛍光灯交換が出来ない器具もあります。
- 蛍光灯の交換作業は必ず手袋･保護眼鏡･ヘルメットを着用し周囲に人がいない事を確認してから行ってください。蛍光灯やその破損片が落下する場合があります。
- ポールは垂直で使用し、引き伸ばしたまま横倒しはしないでください。

⚠ 注　意

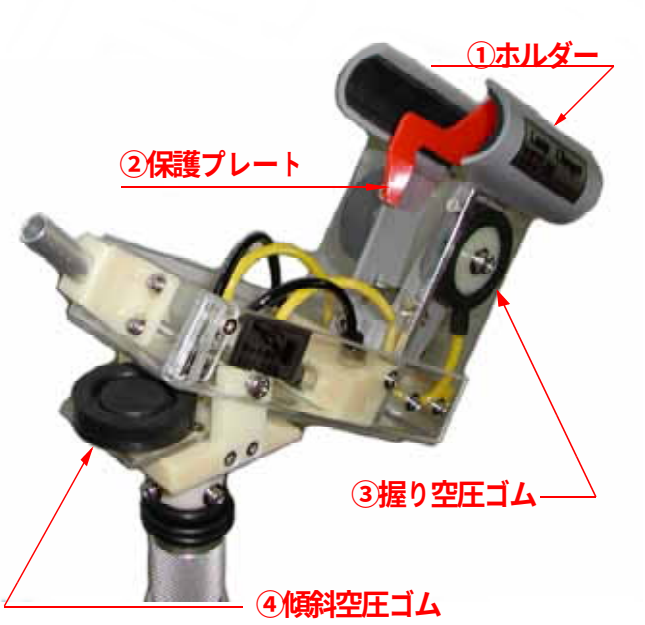
- この器具はソケットが35度傾く事により取り外しが出来る構造となっております。ソケットに対してまっすぐに確実に差込んで、蛍光灯をストッパーに押し込んで固定してください。ソケット破損、蛍光灯落下、電気的接触不良等の事故に繋がります。
- 付属のオフセットバーは105w蛍光灯専用のものです。角度や位置を決めるほか蛍光灯を安定させる役割を担ってます。必ず使用し、所定の位置に蛍光灯をセットして使用ください。
- スプレーを握って 0.09Mps を目安に加圧して蛍光灯をつかんでください。0.07Mps 以下ですと蛍光灯の落下事故に繋がります。

2．使用上の注意

- ポールの高さ調整は 1 段目から順に引き伸ばしますが、都度ロックナットを確実に締め付けてください。また、下降時は自重が加わるので、片手を添えてゆっくり下げてください。指等を挟まない様充分注意ください。
- 気温が10℃以下の環境では使用しないでください。
- 保管に際しては直射日光、高温多湿を避けてください。交換器各部品の劣化により寿命を短くする原因となります。

※ **アフター**
保証期間はお買上げ日より1年間です。

3-1．構造説明



※蛍光灯を器具より35°傾ける事により、抜き･差し出来る構造となっております。

1．⑧スプレーを握る事により③が加圧され①ホルダーが蛍光灯をつかみ、同時に④も加圧され蛍光灯を約35°の状態にする構造です。

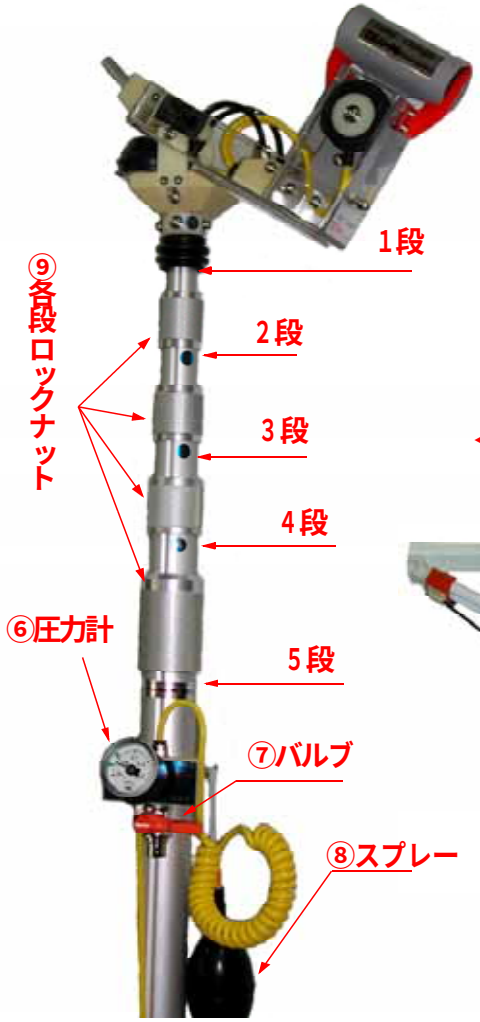
2．②保護プレートは①ホルダーを蛍光灯の中心にガイドする他、過剰な握りから破損を避ける役割をします。

3．⑤オフセットバーは蛍光灯を安定させる他①ホルダーを適正なセット位置に定める約割をします。

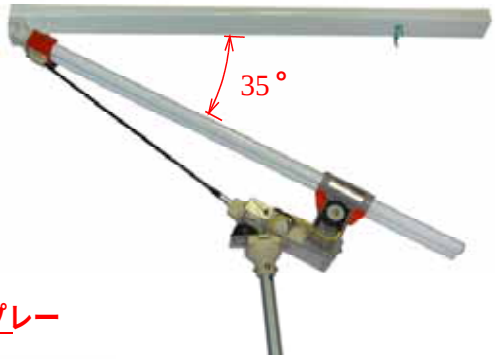
4．アルミポールは最大約6mまで伸びます。
5段の構成で⑨各段ロックナットにより、任意の高さで固定できます。ポールは床に立て1段目より順に伸ばして使用してください。

5．⑦バルブは③④に空圧を送る時にオレンジ色ハンドルを横にひねります。
蛍光灯を離すとき、このつまみを縦の位置にして、圧を抜きます。

6．⑥圧力計は③④の空圧ゴム内の圧力を示します。約 0.09Mps で使用してください。



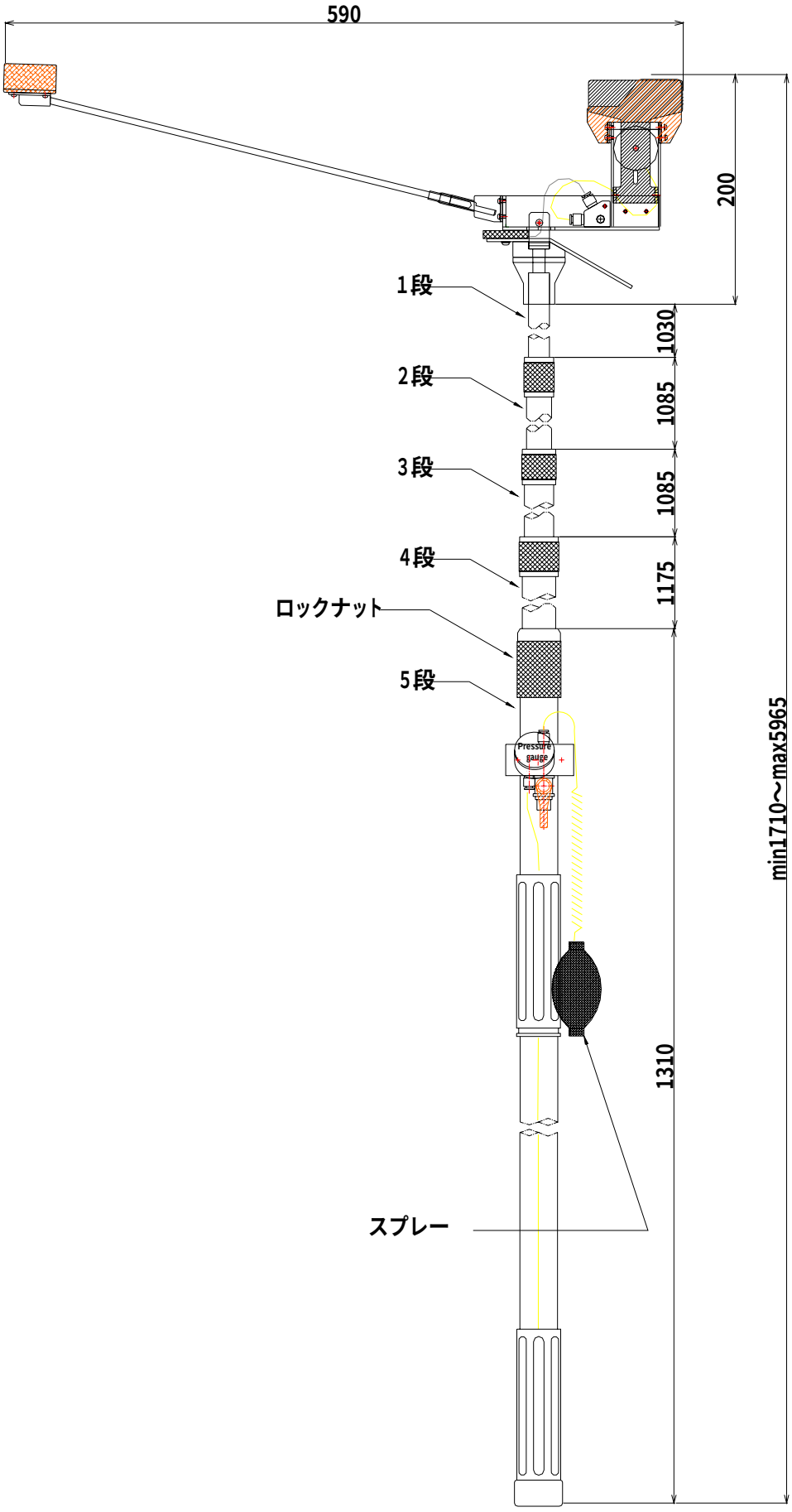
<抜き・差し出来る状態>



<蛍光灯をつかんだ状態>

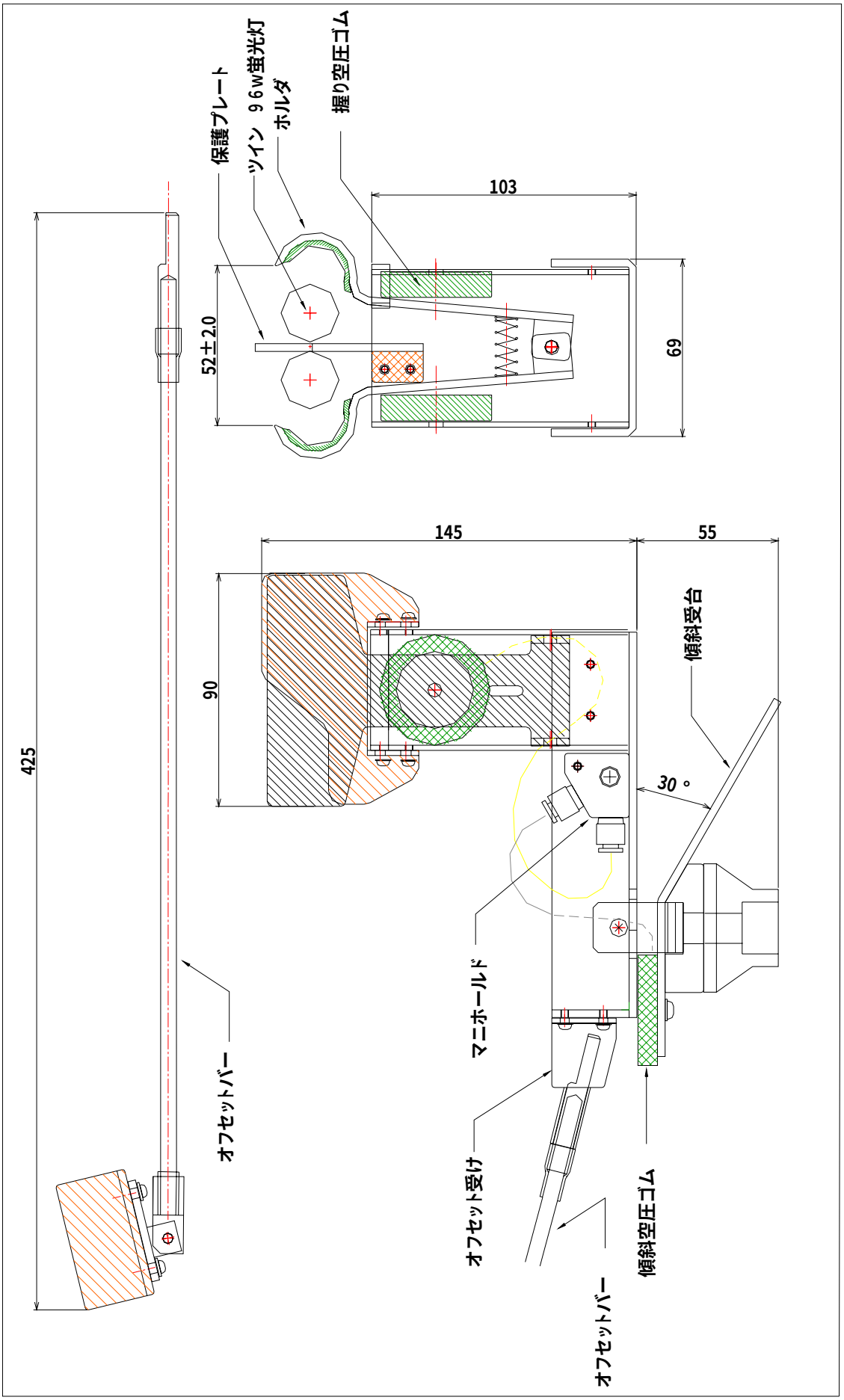
3-2．全体組立図

TKU-96 参考図

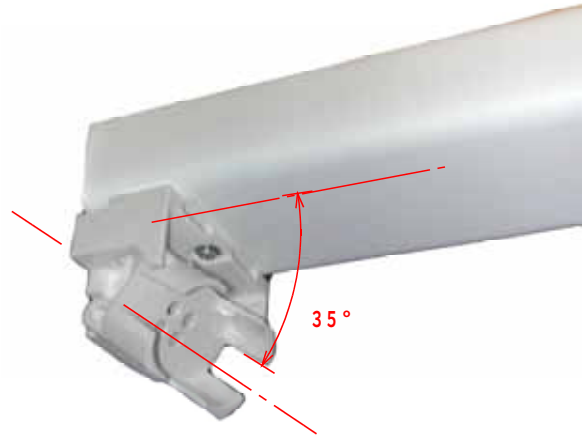


3-3． 本体組立図

TKU-96 参考図



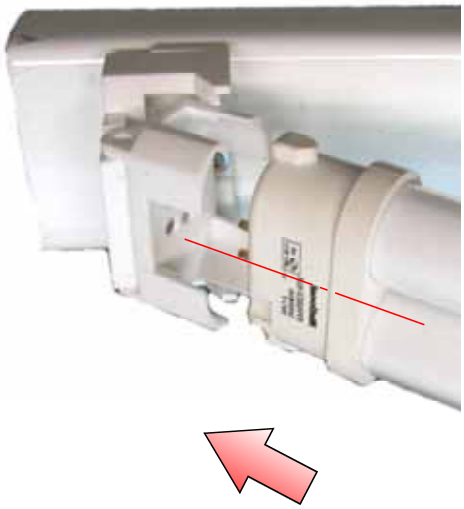
4．蛍光灯器具の説明



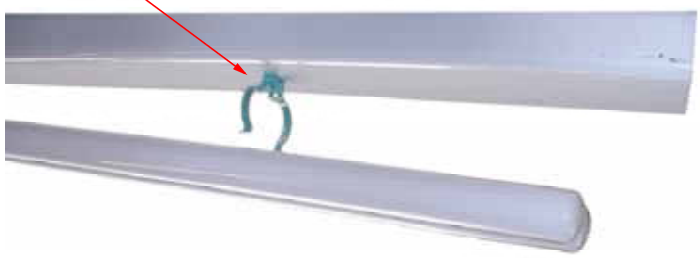
左写真は器具から蛍光灯が抜かれた状態のものです。
ソケットが自重により約35°下方に向いてます。

口金を差込んで蛍光灯を水平方向に持ち上げてストッパーにはめるだけで完了です。

※蛍光灯の角度が器具のソケット角度に合っていないと差込みづらい他、器具を破損させる恐れがあります。

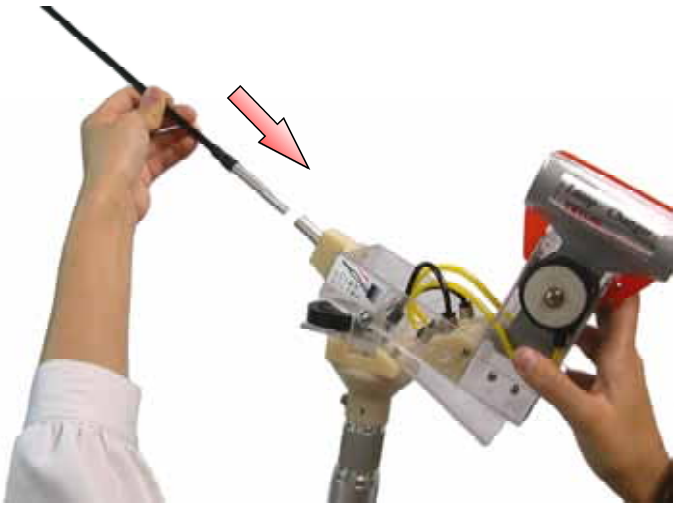


ストッパー



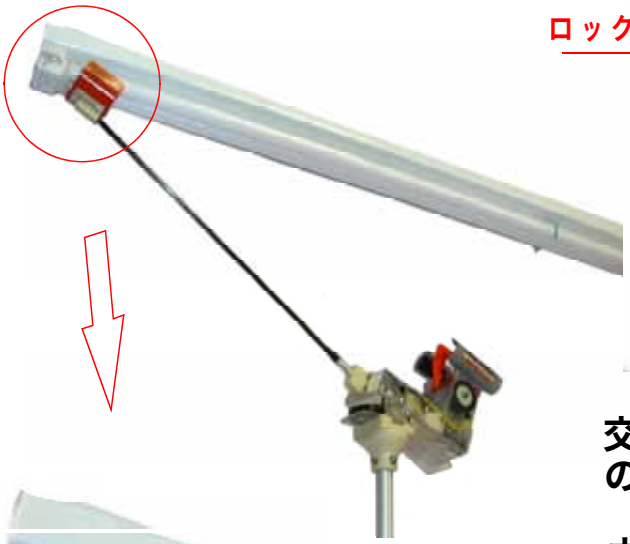
※ストッパーに確実におさめなければ蛍光灯は器具より外れ落下します。

5-1．取り外し操作



まず、オフセットバーを本体にセットします。　差込みの先端は平面カットされているので、それを上面にして差込みます。

オフセットバーの先端が上を向くように本体でバランスを取ってます。

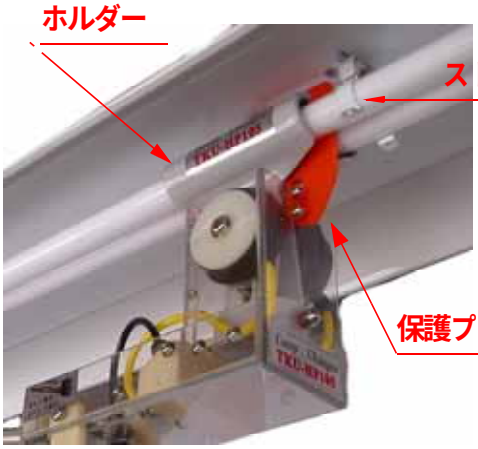


交換する蛍光灯のほぼ真下の床にポールを立てて置きます。

ポールの1段目から順に伸ばしていきます。
段が変わる毎にロックナットを確実に締めてください。
時計回りで”締める”反時計回りで”弛める”になります

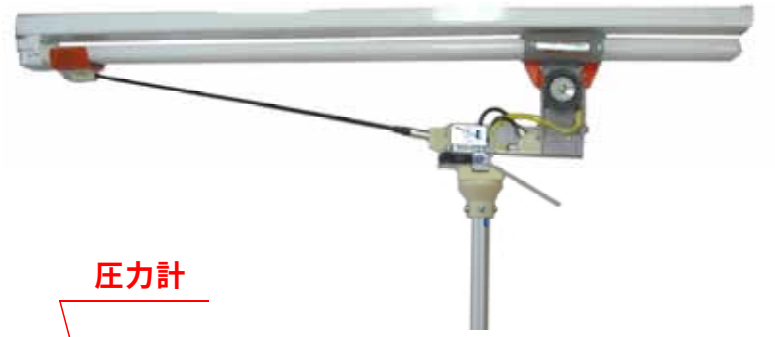
オフセットバー先端を左写真の様に蛍光灯のソケットに添わせます。その位置からずれないように注意を払いながら更にポールを伸ばしていきます。

保護プレートが2本の蛍光管の間に入り、器具の底面に当たったら高さ調整が完了です。



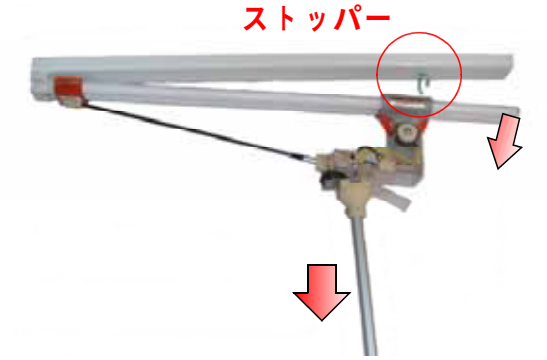
※オフセットバーはつかんだ蛍光灯の安定を図る他、ホルダーの位置を決める為にあります。

※保護プレートは蛍光灯の破損防止の他、ホルダーを2本の蛍光管のセンターに導く役割をします。



ポールのロックナットを締めて左写真の様にポールがほぼ垂直になるように最終段を移動させてください。

次に、バルブハンドルを横向きにして、スプレーを3～4回握って加圧してください。
圧力計で 0.09Mps が目安です。

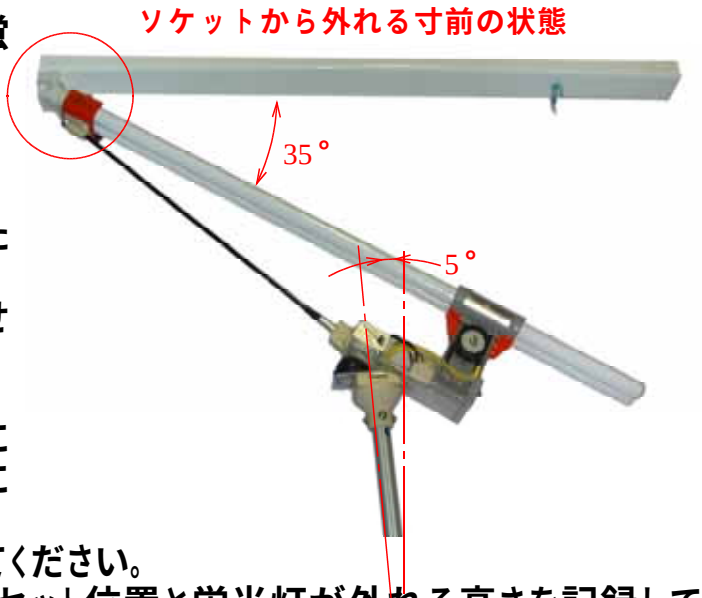


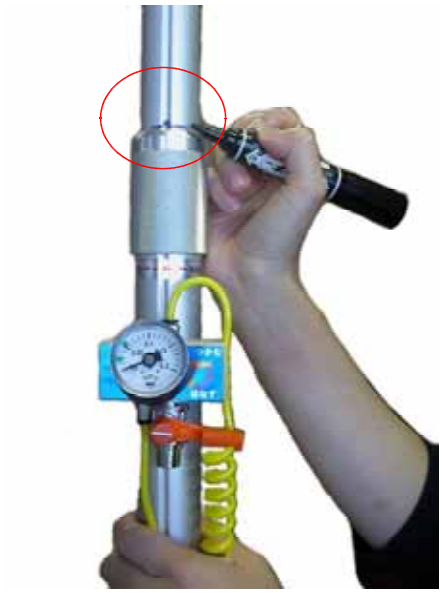
万一、作業中に圧力低下が認められ場合（0.07Mps以下）はスプレーで再度加圧してくださ　い。

次に蛍光灯の取外しですが、最終下段ポールのロックナットをゆっくり弛めてください。
蛍光灯と本体の重量により急に下降する恐れがありますので必ず上段を片手で押さえてから弛めてください。（左写真参照）

器具のストッパーから蛍光灯を引き抜く時は若干の力が必要になります。

蛍光灯が約35°傾いた時点で外れますが、それまではゆっくり下降させてください。





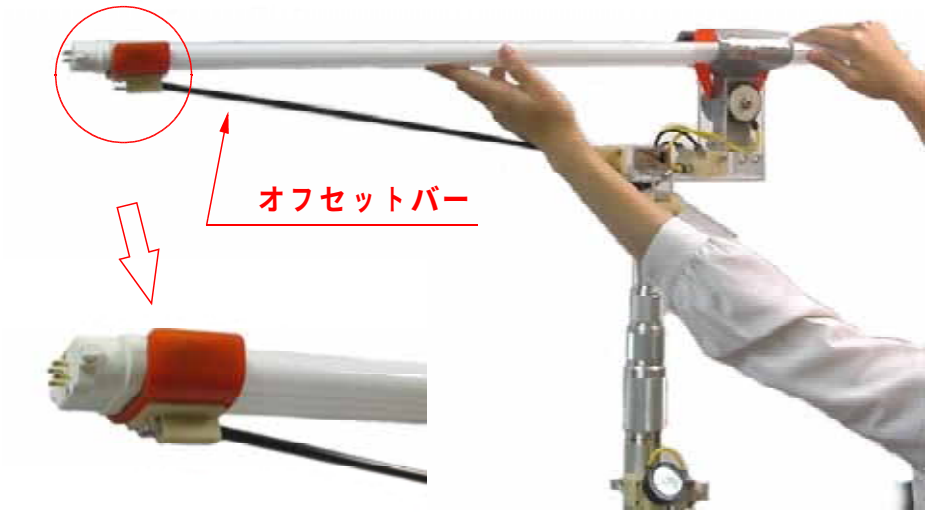
外れた直後に左写真のようにポールに印しを付けておいてください。
ポールの床のセット位置と蛍光灯が外れる高さを記録して置くことにより効率良い取付け作業が可能になります。

印を明記して下げ終わりましたら、バルブハンドル　を下向きして圧を抜いて終了です。

圧力計の針は直ちに”0”を差しますが、ホルダーはゆっくり開放します。　　約5秒が目安です。

5-2．取り付け操作

新品の１０５w蛍光灯を交換器にセットします。



取外し時と同様にオフセットバーの先端に蛍光灯のソケット部を合わせてください。

このセット位置がずれると蛍光灯器具のストッパーに交換器のホルダーが当たってしまう他、取外し作業でポールに付けた印も無効になり、ソケットへの挿入が非常に困難になります。

次にバルブハンドルを横向きに倒します。

圧力計を見ながらスプレーを３～４回握ります。

圧力計の目盛りで約 0.09Mps まで加圧してください。

蛍光灯をホルダーがつかみます。傾斜用空圧ゴムにも同時に加圧されるので、ポールが垂直であると蛍光灯は約４０°の傾きになります。

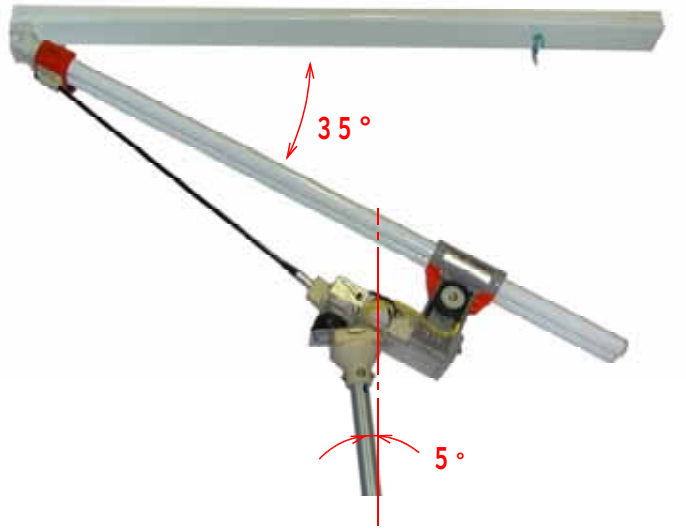
ポールは取外作業の時と同じ床位置にセットしてください。
ポールの１段目から順に伸ばしていきます。

段が変わる毎ロックナットを確実に締めてください。
時計回りで”締める”反時計回りで”弛める”になります。

作業中、幾度か圧力計の確認をしてください。
万一、0.07Mps を下回っているようであれば、再度スプレーで 0.09Mps まで加圧してください。

取外時に付けた印が見えたら、一度ロックナットで固定してください。

器具のソケットに近づけると、ポールが約5°傾いて取外しの時の状態が再現されます。

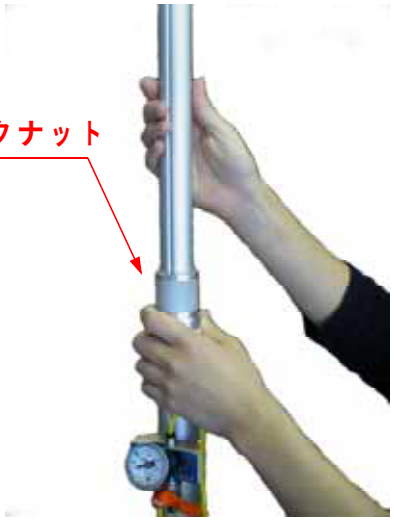


力をいれずにそっと覗かせるだけでソケットに入ります。

その後は、ソケット側に少々倒しぎみに力を入れてポールを伸ばしていきます。

器具のストッパーに蛍光灯を納める時は少々力はいりますが カチンという手応えがあります。

次に、バルブのハンドルを倒して空圧を抜きます。
圧力計の針は 直ちに”0”を示しますが、ホルダーはゆっくり蛍光灯を離します。
約5秒の時間をおいてからポールを下げてください。



注 ： ポールを下げる(縮める)ときは必ず上の段を下がらない様に片手で押さえてからロックナットをゆっくり弛めてください。
ポールの自重により急に下降して指等を挟みます。

国内総販売元
(北海道除く)

三 信 産 業 株 式 会 社

〒 105-0012 **東京都港区芝大門** 2-12-5
モンテベルデ芝大門 405
TEL： 03-3435-1791
FAX：03-3435-1792
E-mail： sanshinogawa@mc.neweb.ne.jp

製 造 元
(工業所有権保有)

北 洋 無 線 株 式 会 社

〒 085-0026 **釧路市寿** 3-4-26
TEL： 0154-22-8181
FAX： 0154-25-1489
E-mail： hokuyo@sh.rim.or.jp